

## 平成 21 年度 幸区区民会議 第 3 回 安全・安心・生きがい部会

開催日時 平成 21 年 6 月 25 日 (木) 午前 10 時 00 分 ~ 11 時 30 分

会 場 幸区役所第 2 会議室

参加委員

専門部会 A 委員：松世部会長、三浦副部会長、荒井委員、猪股委員、菅野委員、高瀬委員

事務局 (企画課)：渡邊課長、高相課長補佐、蓬田課長補佐、小出主査、齊藤職員、小俣職員

議 題 1 「わんわんパトロール」について

2 地域の防犯力向上策について

3 今後の検討内容について

4 その他

開会

司会：渡邊課長

配布資料の確認を行いました。

会議公開について説明し、了解を得ました。

議事

進行：松世部会長

開会あいさつ・区民会議全体会での意見振り返り

(松世部会長) おはようございます。5 月 29 日 (金) に開催された区民会議で部会の検討状況の報告を行いました。区民会議で他の委員や参与の皆様から

わんわんパトロールの取り組みに関しては、

- ・ 広報のひとつとして、保健所で犬の登録を行う際にお知らせを渡してはどうか。
- ・ 広報のひとつとして、動物愛護フェアを利用してはどうか。
- ・ 夢見ヶ崎の公園には犬の散歩に訪れる人がかなりいるので、利用したらどうか。
- ・ 保護司会は幸警察署生活安全課と関係があるので、警察との連携や協力について直接話をし、協力をお願いすることは可能である。
- ・ わんわんパトロールの活動を、町会活動や P T A 活動等ともリンクさせて、参加を促してはどうか。

地域防犯全般、青少年への声掛けなどについては、

- ・ 声掛け、あいさつ運動について、幸区の標語をつくるなどのキャンペーンを展開してはどうか。
- ・ 企画運営部会で、あいさつや声掛けは、地域防犯活動だけでなく地域コミュニティ活動にも関連するので、A 部会と B 部会が一緒に何かできたらいいという意見が出ていた。
- ・ 他の区民会議では、警察署の関係者がオブザーバーの形で出席している例もあると聞いているので、幸区でも警察にお願いしてみてもどうか。

という意見が出されました。

## 1 「わんわんパトロール」の具体的な取組について

事務局がわんわんパトロールの具体的な取り組みについての検討の報告を行いました。主な内容は以下のとおりです。

- ・ 実施に向けて、具体的なコンセプト案までいただいた。
- ・ 広報で区民全体に呼びかけて始める方法もあるが、できればある地域や団体に協力をお願いして、モデル実施をまず行うことで検討を進めていきたい。
- ・ 部会でお話を聞いた他地域の事例では、まず活動をやりたい方々がいて、集まって、やり方なども自分たち決めてから、地域に投げかけ、ご賛同いただいた方に参加していただいて、活動が始まる形だった。幸区では、区役所から声をかけて始める形になるので、まず愛犬家のグループなど集まっている方々に直接声をかけさせていただき、やってみてもらい、その中で課題や手法などを考えていきたい。
- ・ どのぐらいの参加者があるかどうか分からない中では、警察へお願いもしにくい面がある。動いているところが見えれば、様々なお願いや連携の話も投げかけやすくなると考えている。
- ・ 隊員証のデザインなどについても、実施していく中で課題を整理し、その都度経過をこの部会で報告させていただき、意見など伺いながら進めたい。少し動きが見えてきたら、区民全体に募集をかけるなど、広がりを持たせることも同時に進めていきたい。
- ・ 以上のような考え方の元で、事務局に一度預らせていただきたいがどうか。

### 意見交換

(荒井委員) 良い案だと思います。我々は机の上で議論をしているだけですが、モデル例を進めることで、生の声が聞けるようになります。

(高瀬委員) 動き出さないと、何も見えないと感じていました。ただ、これまではどうやって動いたらいいかという、わかりませんでした。良いと思います。

(松世部会長) 私もまずこれまで議論してきたことを一度事務局にお預けして、試しに動いていただくことで、とっかかりができると思います。

(三浦副部会長) 私も良いと思います。動物愛護フェアでブースなどを借りて、この取り組みをPRしたり、先日作成した呼びかけチラシを配布したり、アンケートを行うことは可能でしょうか。

(事務局) まず動物愛護フェアの実行委員会に働きかけてみないことには何ともいえません。また、ブースができたとしても、誰がそこに在留するのかという問題があります。

(三浦副部会長) 当日は日曜日だったと思いますので、もし可能であれば、私が出てもかまいません。ご検討をぜひお願いいたします。

(荒井委員) まず体制を整えて、それから広報というのが、今ご説明のあった事務局の考え方です。その意味では今の段階で、動物愛護フェアで広報というのは、段階的に少し早いかなと思います。

(事務局) モデル的にやっていただく団体や地域について、声をかけるのもこれからで、やっていただけるかどうかはまだわからない現状ですが、今後話がスムーズに進めば、ありえるかもしれません。現段階では、まだ何ともいえません。

(松世部会長) その辺りの進め方も含めて、事務局におまかせしたいと思います。経過については、報告をいただき、検討していきたいと思います。モデル実施をお願いする地域や団体について、お心当たりがありましたら、ぜひ事務局の方に7月2日までにご連絡をお願いしたいと思います。ご友人の方などでもかまいません。よろしくお願いいたします。

(事務局) 企画課の方へご連絡をいただければと思います。モデル実施は必ずしも一団体、一地域で

はなく、複数で始めるような形でもよいと考えています。そちらの方が早く広がると思います。

## 2 地域の防犯力向上策について

事務局が資料 1-1 の説明を行い、これまでの議論の内容について、現状 課題 目指すべき方向 解決方法の流れに沿った整理を確認しました。

事務局が資料 1-2 の説明を行い、課題解決策の実現方法の検討に向けての議論整理の方法、考え方等について確認しました。

また今後もこれらの資料の書式を活用して、議論の内容・流れを確認しながら進めていくことを了解しました。

事務局が資料 2 の説明を行い、「あいさつ・声かけ運動 活動事例」について紹介しました。

### 意見交換

(松世部会長) 「あいさつ・声かけ」運動ということでは、地域でどのように取り組んでいくか、各委員が所属する団体でどのような取り組みができるかといった視点で、検討を進めていきたいと思っています。また、「万引き防止策」ということでしたら、大型店舗に行政から働きかけること以外に、各委員や各団体でできることがあるか、といった視点で検討を進めていきたいと思っています。皆さんいかがでしょうか。

(荒井委員) 「あいさつ・声かけ運動」ですが、資料でご紹介いただいた、毎月 1 日は、県の「あいさつ一新運動推進日」ということは、恥ずかしながら知りませんでした。知らない方が多いのではないのでしょうか。キャンペーンや P R の強化をお願いしたいと思います。静岡と山梨の事例も紹介されましたが、こうした運動の効果というのはどうなっているのでしょうか。なかなかすぐに評価できないものですし、主催者側はプラスのことしか言わないとは思いますが・・・

(事務局) インターネット上の情報では、そこまでは掲載されていませんでした。県の「あいさつ一新運動」については事務局もよく知りませんでした。この近くで、そののぼり旗なども見かけたことはありません。横浜の県庁周辺を中心に行われているようで、県庁内では職員が推進し、館内放送なども行われているようです。

啓発の活動というのは、どうしても効果が見えにくい面があります。繰り返し行い広めていくことが大切になるかと思っています。

(松世部会長) 実施団体の拡大ができていければよいと思います。

(高瀬委員) 私が子育てをしていた頃は、地域の子どもに声をかけやすかったのですが、子どもが大きくなって関わりがなくなってしまい、どの子どもがどこのお子さんがわからなくなり、声がかけにくくなってしまいました。

できるだけ声かけをして、口うるさいおばさんになるようにしているのですが、そのような機会は私のような世代には、なかなかありません。地域の中では、幼稚園から中学校の P T A の役員さんがそうした声をかける機会が最も多くなると思うのですが、どうなのでしょう。

(菅野委員) 学校や幼稚園によって様々なあいさつや見守りの取り組みが進められています。「おはよう」「行ってらっしゃい」などの声をかけています。ただ、その時には声が出せても、その場を離れるとなかなかお互いの顔もわからないし、声がかけれない現状があると思います。

(高瀬委員) 本当に身近な地域の子どもさんとはあいさつを交わしていますし、声をかけているのですが...よく近所でたむろしている子どもたちがおり、問題になっています。

- (菅野委員) そういう子どもたちに対しては、声をかけられる保護者とかけられない保護者がいるようです。
- (松世部会長) たむろしている子どもたちに対しては、「何しているの?」ではなく、「こんにちは」や「おはよう」などたわいなあいさつをかけると、返ってくると聞いたことがあります。「何をしているの?」と聞くと、構えてしまうようです。
- (高瀬委員) 息子からはいつも「下手に声をかけるな」と言われています。特に中学生以上になると「今の子どもは怖いこともあるから」と言われています。
- (松世部会長) できるところ、ごく近所から始められると良いと思います。
- (猪股委員) 確か5, 6年ほど前から、川崎市の各学校に校長先生が主催し、生徒会と保護者の何人かによって構成される「学校教育推進会議」という組織ができています。南河原地区には小学校が2校、中学校が1校あり、私は中学校の推進委員になっていたのですが、そこで声かけ運動に取り組みました。1年ほど運動を行った結果、目に見えて効果があった。学校に用事があって私が行くと、私の顔を知らなくても、みんなあいさつをしてくれます。ただ、学校の外に出ると、あまりあいさつしてくれない。私も知っている人には声はかけるようにしているのですが、運動の効果は高いものがあったと思います。
- (松世部会長) 学校の中ではしつけられているのは良いのですが、それが、外でも実行されるようになると良いですね。
- (猪股委員) 学校と接点のある大人は良いのですが、そうした大人はそれほど多くない。過去にはお願いという形で学校の広報紙に載せられたこともあったようですが、あまりうまくは広がらなかったようです。
- (松世部会長) 担い手になっていただけるような団体はないでしょうか。今日は綱川委員がご欠席ですが、老人会でも声かけ運動を行っている例はあるようです。
- (荒井委員) 山梨県の事例について、参加者はどうなっているかわかりますでしょうか。
- (事務局) インターネット上で、事例集という形でまとめられていた情報です。通学路のパトロールなどと合わせてやっているようです。団体の名称は載っているのですが、どのような方々が主体になっているのかの詳細はわかりません。自治会が主体になっていると思うのですが…同じ学区内で複数の団体があるようです。
- (猪股委員) 南河原地区でも通学時のパトロールと合わせて声かけを行っていると思います。他の学校についてはわかりません。
- (荒井委員) 誰がやるのかということと言いますと、まず大人側と子ども側に分けられると思います。子ども側については、やはり学校を通じた活動やキャンペーン、生徒会や地域教育会議などに参加を依頼していくことになると思います。大人の方は、老人クラブや既に登下校のパトロール活動をしている団体を通じてお願いしていく。地域一体の組織がより良いと思います。全然関係やつながりがないところから、運動を起こしていくのは大変だと思います。地元で、小さな地域から、顔見知りの中から始め、広げていけると良いと思います。幼稚園は大体バス通園になってしまっていますし、高校生以上は遠方通学になっているので、小中学校から運動を起こしていくのが良いのではないのでしょうか。
- (高瀬委員) 矢向駅の近くに住んでいますが、駅を降りてすぐ帰らずに、たむろして話している子どもたちがいます。マンションの敷地内に入ってきた場合には、でしゃばってでも声をかけに行きます。「何をしているんですか?」「ここは物を食べる所ではないですよ」など声をかけます。ただ、

敷地外では、なかなか声をかけにくいです。できるだけ警察沙汰にたくないという心理も働きます。どういうふうに、知らないところのお子さんに接したらいいのか迷っています。階段の下や自転車置き場の裏など、ちょっと目につきにくい所に、何か声がするなと思って見に行くと、男の子も女の子も地べたに座り込んでいます。「最近では自転車泥棒も多いから、すぐ警察を呼ぶことにしているのよ。ここで何をしていますんですか」というと、「別に」と言って渋々出ていく子もいます。まず「困るな」という心理がどうしても働きます。

(荒井委員) 相手が多人数でいる場合には危険が伴うことも考えられます。そういう場所を予めチェックしておき、警察などの協力も得ながら、複数人数でパトロールをする形をとらざるを得ないと思います。これは声かけ運動とは少し異なる問題です。

(高瀬委員) そうですね。実際に警察の協力を得たこともあります。また、主人がいる時は一言いつでももらったりしています。

(荒井委員) それを何回か繰り返せば、「ここは時々くるぞ」ということになります。

(高瀬委員) 最近では玄関のところには来なくなりました。

(荒井委員) でも、そういうことはあまりお一人でやらないほうが良いと思います。

(松世部会長) あまり危険を伴うようなことは避け、気軽に声をかけあうような運動を進めていきたいです。ゆくゆくは幸区全体にゆきわたると良いのですが、まずはある地域や団体から始めて、広げていければ良いと思います。実施主体としては、PTA、保護者、学校、町内会・自治会、老人会などの団体の名前があがりました。

(三浦副部会長) 声かけというのは、あいさつになると思います。最近、朝の時間帯は交番の前に警察官が立つようになりました。こうした交番にただ立っているだけではなくて、あいさつをお願いする。また商店街の店舗などに対してもあいさつ運動をひろげようと呼びかけてはどうでしょうか。店舗にとっても「おはよう」などのあいさつを行うことはプラスになると思います。万引き予防の意味でも、声かけは広げられると思います。できるところからという点ではのってくれるのではないのでしょうか。

(荒井委員) もうひとつの課題ともつながってきますね。

(三浦副部会長) 大店舗ではなかなか店員がお客様に声をかけるといったことがないようですが、それが変わっていくと良いです。

(高瀬委員) まだ大店舗への働きかけなどは行っていないのですよね。盗ってから捕まえるのではなく、未然に防ぐ対策を進めていきたいです。

(三浦副部会長) 事前にあいさつで声をかけておけば、万引きしにくくなると思います。

(荒井委員) 山梨県の事例では、標語をつくったりしています。これは気がつきませんでした。なるほどと思いました。大人たちからと子どもたちからの両方の立場から実施できると効果があがると思いました。子どもたちは学校を通じて行くと良いとおもいますが、大人たちは一般公募ということになるのでしょうか。区民の皆さんを通じて、我々だけで考えるより良いアイデアが出ると思います。

(コンサルタント) これまでの議論を少し整理してみたいと思います。

まず、目的についてですが、他のいろいろな課題とも繋がってきますが、やはり第一は地域の中で顔の見える関係をつくっていくということだと思います。顔の見える関係が防犯にも、子どもがなにか悩んだ時の相談相手にも、つながります。

先ほど高瀬委員から出ていたのは、こどもの居場所の問題になるかだと思います。この問題と顔の

見える関係づくりは別に考える必要があります。あの世代の子どもというのは、何を話しているのか、何をしているかといわれると、はっきりしないのだけれども、放課後も友達と一緒にいたいものです。皆さんの若いころもそうだったのではないのでしょうか。しかし学校には居られないし、コンビニや公園やファストフード店で友達と集まっている。また、それを問題視されることによってかえって構えてしまう一面もある。こうした問題に対し、放課後の子どもの居場所、たまり場をつくろうという活動に取り組んでいる地域もあります。

課題としては、「危険性」「知らない相手に対する躊躇」など声かけへの難しさが指摘されました。また学校レベルなどでは運動が既に行われているのですが、それがなかなか学校の外までなかなか広がっていかない。学校の中では挨拶するけど、外ではしない。知らない子どもには声がかけにくいという声がありましたが、特に最近では子どもたちの方も、知らない大人とむやみに話すなど教えられているのではないのでしょうか。保護者以外の世代、学校との設定のない方が地域の子どものと接する機会がないとの指摘もありました。また、県のあいさつ運動などが、知られていないというご指摘もありました。

「いつ」という点では、登下校時がひとつの鍵になりそうです。

「誰が」という担い手面では、学校やPTAのご意見が多かったと思います。既に活動をしているところも結構あるというお話でした。

「対象」としては、できるところからということで考えますと、まず小中学生がメインターゲットになりそうです。また商店街や交番などにも働きかけようというご意見もありました。

「どこで」という点では、身近な地域、地域レベル。

「どのように」ということでは、標語づくりについてのご意見が出ました。また、キャンペーンという言葉も度々出ていますが、その中身はどのようなものなのか、もう少しアイデアが出せると良いと思います。

(松世部会長) 学校レベルでは既に様々な取り組みがなされていると思います。私の地域、平間中学校区ではたまたま今度の7月3日が地域教育会議の地域懇談会なので、そこでお話をしてみようと思っています。

(コンサルタント) ぜひ、今どのような活動をされているのかも聞いていただいて、考えられると良いですね。

(松世部会長) いつも、通り一遍の話しかできていないと感じています。もう少し活性化したいところです。

(菅野委員) うちの中学校では先生と保護者と生徒会の三団体が正門の所に立って、通学してきた子どもに声をかける活動を行っています。学校によってあいさつ運動の行い方は様々です。小学校では、中学校の生徒会のように、生徒が直接的に運動に参加することは難しい現状があります。保護者や町内会の協力を得て、通学路の途中に立っている活動もあります。多かれ少なかれ、何らかの活動をしているところがほとんどではないかと思います。

(松世部会長) 私の子どもが中学生の時も、PTAの保護者が立っていた記憶があります。ただ、何か強制的なものを感じていました。保護者も「当番だから行かなくちゃ」ということで「やらされている感」がありました。

(菅野委員) 半ば強制的になってしまう部分はあると思いますが...

(松世部会長) 最初は強制的でもあいさつが習慣になれば、変わってくるのではないのでしょうか。違和感なくできるようになると良いですね。

- (荒井委員) 保護者などが立っているというのは、校門の所になるのでしょうか。
- (菅野委員) 学校によって違います。校門に立つ例も多いと思いますが、通学路の途中の子どもが通るところにポイントを決めて、旗などを持って立っている例もあります。
- (荒井委員) 通学路の途中で道端で会う、すれ違う方々にあいさつができると良いと思います。学校の中はもちろんですが、外でもできると良いと思います。
- (松世部会長) この部会で話し合っている目的は、地域レベルでのあいさつが広がっていくことです。お互いに気にかけていることが伝わっていくことです。皆で見守っているということが子どもたちに伝わっていけば、子どもたちも安心です。
- (コンサルタント) 例えば校門でやると、ある意味検問みたいになってしまうのでしょうか。
- (松世部会長) 協力団体にどのようにお願いしていくかということも重要です。PTAは菅野委員を通じて話が通せればと思います。地域教育会議からの委員は区民会議にはいないのでしょうか？
- (事務局) いらっしやいません。
- (コンサルタント) 神奈川県「あいさつ一新運動」のロゴマークなどは利用することはできるのでしょうか。
- (事務局) 県内なので、使えると思います。幸区役所でも窓口などで、来庁舎に対するあいさつなどはきちんと行っています。ただ、外で会った時までということではありません。
- (三浦副部会長) 標語の公募というのは、一つのきっかけになって良いと思います。
- (コンサルタント) キャンペーンをどのように展開するかについて、もう少しアイデアが出ると良いと思います。紹介された事例では、ロゴマークやバッジなどの例もありました。知らない人には声をかけにくいという環境の中、こうした目にみえるものがあることで、より運動がやりやすくなる面があると思います。また、既にやられている活動がある中、どのように進めていくかも重要です。
- (荒井委員) 静岡県の事例は平成12年からということで、9年くらい経っていることになります。その経験やノウハウなどもっと知りたいところです。具体的な成果など、わかりにくいとは思いますが、何かないのでしょうか。
- (三浦副部会長) 9年続いているということも、一つの効果ではないでしょうか。
- (コンサルタント) 犯罪が減ったという場合でも、あいさつ運動との因果関係はなかなか証明できるものではありません。何より運動に参加されている方々の満足度や、「これまであいさつをしなかった地域の人と声をかけあえるようになった」という声などこそ、何より確実な成果と言えると思います。
- (三浦副部会長) 事務局にはあいさつ運動の活動事例、経過や成果などについて、もう少し調査をお願いしたいです。また各委員でも、各団体で声を掛けたり知恵を出していただいたりしていきたいと思っています。出身団体の会合などでぜひ議題としてとりあげていただければと思います。
- (コンサルタント) 事務局でも調査、作業を進めますが、各委員様でも情報がありましたら、お寄せください。よろしく願いいたします。
- (松世部会長) 標語なども具体的な例やアイデアがあれば、ぜひお願いいたします。
- (高瀬委員) 自転車の交通安全の標語の入ったカレンダーが区内の何箇所かで掲示されているのを見ました。「ベル鳴らすより、声かけよう」など、子どもが考えた標語が書かれていました。
- (コンサルタント) あれは、昨年度こども支援室で公募し、作成したものです。
- (高瀬委員) 同じようなことが、声かけ運動でもできると良いと思います。小学校では取り組みやすいのではないのでしょうか。より運動を意識してもらえるとと思います。

- (猪股委員) あの標語は、安岡委員が代表をされている交通安全対策協議会が各学校にお願いして集めたものと聞きました。
- (高瀬委員) 自分や友達の考えた標語があれば、こどもたちも、より興味を持ってみたいと思います。すごく良いなと思って見ていました。
- (猪股委員) 小学校だけでなく、中学校にもお願いしたと聞きました。入選した標語は、小学生の作品も、非常によくできているなと感心しました。昨年度の3月頃に集まった作品の審査などもしていました。
- (松世部会長) もうひとつ、万引き防止対策についても、大型店舗に行政から働きかけること以外に何かできることはないかという話がありましたが、どうでしょうか。
- (荒井委員) 学校側では万引きに関わる何か対策はやられているのでしょうか。
- (猪股委員) 生徒会などでよく話をしていると聞きました。
- (松世部会長) 店舗にも「万引きは犯罪です」などのシールやポスターを掲示していただくと、効果があるのではないのでしょうか。
- (猪股委員) 10日ほど前にテレビで見た、万引き被害にあったコンビニがとったある解決策は、警察に時々巡回してもらおうということでした。それだけでずいぶん減ったそうです。
- (松世部会長) よく郵便局や銀行で「警察官立寄り場所」というような掲示を見ます。同じようなことをしても効果があるかもしれません。保護司が中心になって活動している「社会を明るくする運動推進委員会」に何か働きかけても良いかなと考えています。この部会ではありませんが、酒井委員がいらっしゃいます。また昨年度の第1期の委員長である葉山さんが委員長になりましたので、お願いがしやすいかなと思います。
- (高瀬委員) 大型店舗では、制服を着た警備員さんのような方も何名かいますので、その方々がもう少し各店舗を回るようにしてくれればいつも思っています。
- (荒井委員) 一度警察の方に聞いた話では、警察の方でもそれを希望し、申し入れているようなのですが、なかなかやってくれない。むしろ私服で巡回し、捕まえる方に力を入れているようです。また、テナントや経営者がしょっちゅう替わってしまうため、一度関係をつくってもまた最初から説明しなければならないということもよく起こるようです。まず警察から声をかけてもらうことも必要ですが、区長からもお話に行っていただければと思います。ぜひ制服による巡回を中心に据え、声かけも行うなど、万引きの予防策をお願いしたいところです。人数を増やすなど、費用を新たにかけるのではなく、現状の人数でやり方を変えていければよいと思います。
- また、商品の陳列方法についても警察は苦々しく思っているという話もありました。この指導もできれば進めていただきたいと思います。
- (高瀬委員) ある程度盗られることも見込んで商売をしているという話を聞いてびっくりしました。
- (松世部会長) 罪を犯させてしまうということをもっと問題視すべきです。ぜひ私服ではなくて制服での巡回、捕まえるのではなく予防をお願いしたいです。また、万引きは青少年に関わらず、高齢者などにも増えているようです。
- 今後も何かご意見があればぜひお寄せください。よろしく願いいたします。

### **3 今後の検討内容について**

事務局が資料3の説明を行い、昨年度第1回の部会の際のテーマ選定の際の各委員の意見等を振り返ると共に、今後の検討内容について、意見交換しました。

(荒井委員) テーマは一つに絞らなければならないのでしょうか？

(事務局) そういうことはありませんが、会議の時間や回数も限られている中で、時間的な条件等も考慮していただければと思います。関連性のあるテーマであれば、複数並行して検討していくことも可能だと思います。

(荒井委員) 自転車の問題は、区だけではなかなか解決できるものではないと思いますが、継続的に検討してみたいです。また各委員に改めてアンケートをとって、新しいテーマがあるのかどうか、もう一度洗い出してはどうでしょうか。

(事務局) 本日は、4人の委員さんが欠席ということもありますので、この場でテーマを決定してしまうのは難しい面もあると思います。ぜひ次回に向けて、荒井委員のご提案のようにアンケートをとらせていただき、その結果を元に次回また検討したいと思うのですが、いかがでしょうか。

(松世部会長) さいわい区民フォーラムの際に来場者からとったアンケートの結果については、何か参考になりそうなものはありますでしょうか。

(事務局) 確か、「地域防犯・防災活動の推進」がもっとも多く挙げられたのですが、それでも8件でした。その他「児童登下校時の安全確保」「自転車対策等」「健康で生きがいの持てる地域づくり」の順で挙げられていましたが、非常にざっくりとした、おおまかな聞き方であり、具体的な検討内容までは聞いておりません。

#### 4 その他

南加瀬での青色蛍光灯の設置について

(事務局) 以前この部会で話題となった青色防犯灯ですが、南加瀬の町内会で全ての防犯灯をこれに切り替えたということです。町内会長にお話を聞いたところ、テレビで青色防犯灯について紹介されているのを会長が見て、「いいね」という話になり、変えてみようということになったそうです。

昼間も点いている様子や夜なども見たのですが、今のところ、地域の住民は特に違和感なく受け入れているようです。

(菅野委員) その地域に住んでいるのですが、私の身近な人との話では、「少し暗い」「怖い」という感想もあります。

(三浦副部会長) 費用は地域が負担したのでしょうか。

(事務局) 町内会が負担しています。設備を新しくするのではなく、蛍光灯を換えています。3月末から換えたということで、まだ3ヶ月ほどなのですが、今のところコンビニなどでの犯罪も起こっていないそうです。

(荒井委員) 今後も経過を見守っていきたいです。

次回の日程について

7月24日(金)に開催することを確認しました。